

第3期（令和3年度～令和5年度）第1回日進市地域包括ケア検討会議 議事録

|         |  |
|---------|--|
| 日 時     | 令和3年6月1日（火） 午後2時から午後3時35分まで  |
| 場 所     | 日進市民会館 3階大会議室（Zoom 併用）   |
| 出 席 者   | 石田 路子（会長）、宮川 浩一（副会長）、中井 英貴、長谷川 清、横井 裕子、神野 建三、徳留 裕子、伴 律子、伊東 幸仁、山田 幹雄、加藤 知恵美、横山 英治、齋藤 寛子、住田 敦子、村井 良則、富岡 亜希子  |
| 欠 席 者   | 澁谷 いづみ   |
| 事 務 局   | 伊東 あゆみ（健康福祉部担当部長）、加藤 誠（健康福祉部次長兼地域福祉課長）、緑川 知子（地域福祉課主幹）、西尾 直樹（地域福祉課課長補佐）、野村 圭一（地域福祉課地域支援係長）、長草 梨香（地域福祉課地域支援係主事）  |
| 傍聴の可否   | 可  |
| 傍聴の有無   | 無  |
| 次 第     | 1 開会<br>2 あいさつ<br>3 委員委嘱<br>4 議題<br>（1）会長等の選出について<br>（2）地域包括ケア検討会議について<br>（3）地域包括ケアシステムの構築に向けた取組について<br>（4）部会委員の指名について<br>5 今後の予定<br>6 閉 会   |
| 配 布 資 料 | 次第<br>委員名簿<br>資料1－1 第3期日進市地域包括ケア検討会議について<br>資料1－2 地域ケア会議を活用した個別課題解決から地域包括ケアシステム実現までのイメージ<br>資料1－3 日進市地域ケア会議設置要綱<br>資料2 地域包括ケアシステムの構築に向けた取組について<br>資料3 部会委員の指名について<br>第8期にっしん高齢者ゆめプラン |

| 発 言 者 | 内 容    |
|-------|--------|
|       | 1 開会   |
|       | 2 あいさつ |

| 発 言 者 | 内 容   |
|-------|---|
| 事 務 局 | (健康福祉部担当部長あいさつ)   |
| 事 務 局 | 続きまして、委員の紹介ですが、お配りしております委員名簿の順に自己紹介をお願いいたします。   |
| 委 員   | (委員自己紹介)  |
| 事 務 局 | (事務局自己紹介)   |
| 事 務 局 | (資料確認)  |
| 事 務 局 | (傍聴人無し)   |
| 事 務 局 | それではこれより議事に移りますが、初回会議となりますので、会長が決定されるまでの間、代理として地域福祉課長が会議の進行役を務めさせていただきますのでご了承ください。                                      |
|       | 3 議題  |
| 事 務 局 | ではまず議題(1)「会長等の選出について」に入ります。<br>要綱第4条第4項において、会長は委員の互選により定めることとなっております。立候補またはご推薦はございますか。                                  |
| 委 員   | 会長には、学識経験が豊富な、名古屋学芸大学の石田委員にお願いしたいと思います。   |
| 事 務 局 | 石田委員に会長をお願いしたいとのご推薦がありました。いかがでしょうか。   |
| 委 員   | (異議なし)  |
| 事 務 局 | それでは、会長は石田委員にお願いしたいと思います。<br>副会長につきましては、同じく要綱第4条第4項において、会長からの指名となっておりますので、会長のご指名をお願いします。                                |
| 会 長   | ただいま会長に選任いただきました石田です。副会長には、実態に詳しく経験も豊富な宮川委員にお願いしたいと思います。  |
| 事 務 局 | 宮川委員に指名がありました。いかがでしょうか。   |
| 委 員   | (異議なし)  |
| 事 務 局 | それでは、会長にられました石田委員から一言ご挨拶をお願いいたします。  |
| 会 長   | (あいさつ)  |
| 事 務 局 | それでは、これからの進行については会長をお願いします。   |
| 会 長   | それでは、議題(2)「地域包括ケア検討会議について」に入ります。<br>事務局から説明をお願いします。   |
| 事 務 局 | (資料1に基づいて説明)  |
| 会 長   | 事務局からの説明について、ご質問やご意見はありますか。   |
| 委 員   | 日進市では在宅医療・介護に関連する講演会等をやまびこ日進中心に開催しております。地域包括ケアは高齢の方を中心に考えていくことが多いですが、やまびこの活動及び在宅医療・介護についての住民への周知を更に推進していく必要があると感じております。 |

| 発 言 者 | 内 容   |
|-------|---|
| 委 員   | <p>同じく住民への周知の必要性を感じております。第8期につき高齢者ゆめプランの策定や地域包括ケアシステムの構築に向けた取組み等、市の取組みや検討の内容が地域においてあまり認知されていないように感じます。そのために、地域住民で協力して取組みを進めていこうという気風が高まらないのではないのでしょうか。</p>  |
| 委 員   | <p>地域包括支援センターとしては、数年間個別地域ケア会議を開催しておりますが、個別の事例を地域の協議会等での検討や政策形成に結び付けていくことを課題として感じております。</p>  |
| 会 長   | <p>委員の意見をまとめると、地域包括ケアの理解という点において、地域住民への浸透が進んでいないと実感があるようです。第3期の本会議において、この点が一つの課題になるのではないのでしょうか。</p>   |
| 委 員   | <p>これまで地域包括ケアに関する検討の場に参加してきた中で、高齢者の移動支援等、地域ごとの課題に対して日進市独自の仕組みができており、こうした取組みが地域全体に広まっていくと良いと感じております。</p> <p>また、権利擁護を推進する立場として、高齢の方や障害者の方からも、支援されるだけでなく、人や地域のために活動したいという強い思いを感じることがあります。そのため、地域包括ケアシステムの構築において支援する側・される側といった構図ではなく、参加支援という考えを基に身近な場所で誰もが役割を持ち、生きがいを感じられるような仕組みづくりの推進を図るべきだと考えております。</p> |
| 会 長   | <p>様々なご意見、ありがとうございます。それでは、議題（3）「地域包括ケアシステムの構築に向けた取組について」に移ります。事務局から説明をお願いします。</p>   |
| 事 務 局 | <p>(資料2に基づき説明)</p>  |
| 会 長   | <p>事務局からの説明について、ご質問やご意見はありますでしょうか。</p>  |
|       | <p>&lt;質疑応答、意見交換&gt;</p>  |
| 委 員   | <p>資料1 3頁の介護予防・日常生活支援総合事業の表の、「訪問型サービス」と「その他の生活支援サービス」について、内容が近い部分があるように見られますが、具体的なイメージを教えてください。</p>   |
| 事 務 局 | <p>「訪問型サービス」について、①訪問介護と②訪問型サービスAは、基本的にヘルパーや特定の研修を受けた方が自宅に訪問し、生活支援や身体介護を行うものです。③訪問型サービスBは、住民が自宅に訪問し、調理支援やゴミ出し等身体介護を伴わない簡単な支援を行うものです。なお五色園や香久山のワンコインサービスは③に該当する取組みですが、表においては実施事業でないという表現になっています。これは、行政としてこれらの取組みを総合事業として位置付けて、補</p>   |

| 発 言 者 | 内 容  |
|-------|--|
|       | <p>助金の交付等を行うという支援をしていないためです。</p> <p>また、これは通所型のサービスにおいても同様のことが言えます。</p> <p>③通所型サービスBについても、住民が主体となって運営しているつどいの場等での体操や講話等が該当しますが、この活動に対して行政から補助金の交付等を行っていないため、実施事業ではないという表現になっています。</p>   |
| 委 員   | <p>認知症についての周知・啓発の推進は是非実施していただきたいです。地域住民と関わる中で、まだ認知症に対しての偏見があるように感じられます。このことが原因で早期に医療機関等へ繋がられなかったケースもありました。</p>   |
| 委 員   | <p>資料の大見出しの中で、「介護予防・日常生活支援総合事業」「包括的支援事業」「生活支援体制整備事業」「日進市高齢者移動支援推進事業」「認知症施策推進事業」「在宅医療・介護連携推進事業」等がありますが、これらの関係や位置づけについて説明をお願いします。</p>  |
| 事 務 局 | <p>地域包括ケアシステムは大きく二つに分けられ、全国一律の介護保険によるサービス給付と、市町村が独自に行う地域支援事業があります。</p> <p>市町村が独自で行う事業は、大きく三つに分けられます。</p> <p>一つ目が資料13頁の一番左に記載されている介護予防・日常生活支援総合事業（新しい総合事業）です。ここには、訪問型及び通所型サービス事業及び一般介護予防事業が含まれます。</p> <p>二つ目に、資料24頁以降の包括的支援事業があります。ここには、地域包括支援センターの運営や、生活支援体制整備事業、認知症施策推進事業、在宅医療・介護連携推進事業が含まれます。</p> <p>最後に、その他の事業として任意事業があります。</p> |
| 委 員   | <p>本会議では、介護保険の給付に関する内容は取り扱わないということでしょうか。</p>   |
| 事 務 局 | <p>はい。介護保険の給付に関する事項については、日進市高齢者福祉・介護保険事業運営協議会において議論をしております。</p>  |
| 委 員   | <p>口腔内の健康が全身の健康に繋がるということについて、少しずつ市民の理解も広がっています。</p> <p>資料19頁の健口健食げんき教室は名古屋学芸大学との共同で実施しており、同大学には口腔ケアに精通した教授もいて日進市は社会資源に恵まれていると感じます。現在はコロナ禍ですが、このような資源を生かして少しずつ事業を進められると良いと思います。</p>   |
| 委 員   | <p>資料17、19頁の健口健食元気クラブ及び教室については今年度も実施予定でしょうか。</p> <p>また、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に関して、日進市</p>   |

| 発 言 者 | 内 容  |
|-------|--|
|       | <p>は周辺の自治体に比べて早い時期から取り組んでおります。栄養に関しては、東名古屋医師会の「やまびこ 栄養ケアステーション」もあり、現在7名の栄養士の登録があるため、市の事業に貢献できる機会があれば協力していきたいと考えています。</p>   |
| 事 務 局 | <p>今年度の健口健食元気クラブ及び教室は、現段階で大学との話し合いは行っておりませんが、毎年実施をしている事業のため、今年度においても大学や歯科医師にもご協力いただきながら実施に向けて検討していきたいと考えております。</p> <p>高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について、日進市は昨年度組織の見直しを行い、75歳で国民健康保険から後期高齢医療へ保険者が変わっても、保健事業は切れ目なく一体的な実施ができるよう、保険年金課内に保健事業係を設置し、専属の保健師を1名配置しました。また、昨年度は庁内で高齢者に関わる事業の実施に携わる保険年金課、介護福祉課、地域福祉課、健康課、福祉会館の職員による検討部会を設置し、お互いの事業の把握や連携について議論してきました。今年度においても引き続き事業検討や取組みを進めてまいります。</p> |
| 委 員   | <p>社会福祉協議会は様々な事業において市の地域包括ケアの構築に関わっていますが、職員の思いや悩みに寄り添いつつ、市の意見にも耳を傾けて事業を進めてまいります。</p>   |
| 委 員   | <p>高齢者移動支援について、現在は県のモデル事業として実施しており市からの補助金等は交付されていないということですが、今後継続的に事業を実施していく上では財政的な問題等、様々な課題が出てくるかと思えます。高齢者移動支援事業の現状はいかがでしょうか。</p>  |
| 事 務 局 | <p>高齢者移動支援の県モデル事業は令和4年度までの3年間で、県から補助金の交付があります。令和5年度以降について、具体的な制度設計には至っておりませんが、総合事業の訪問型サービスDに位置付けて、県や国の補助を受けることが方法の一つとして挙げられます。</p> <p>また、継続的な実施については、車の保険に関する勉強会の実施や、移動支援を実際に担うドライバーの養成講座、安全運転講習等の運営的な側面での支援等を引き続き行ってまいります。生活支援コーディネーターを中心とした地域の方から、必要な支援や要望を聞き取り、具体的な支援策を練っていききたいと考えております。</p>  |
| 委 員   | <p>一昨年度前に、地域住民がどれくらい日々の移動に困っているのかについて、市内の整形外科に協力いただき待合室でのヒアリングを実施しました。その結果を踏まえ、日東東山地区での移動支援の運行ルートの中に、近所の整形外科を組み込むことを実現しました。このように、今後も医療・介護と市民の生活を繋げていくための事業を推進していきたいと考えております。</p>   |

| 発 言 者 | 内 容  |
|-------|--|
|       | <p>また、地域包括ケアシステムについて住民の理解不足や当事者意識の薄さを実感しています。この問題に対して地域包括ケアシステムそのものについての周知と同時に、日常における運動やご近所同士でのお付き合い等の普段の生活こそが健康づくりや支え合いに繋がっていることを併せて伝えていくことで、住民は地域包括ケアシステムを我が事として捉えやすくなると考えております。</p>   |
| 委 員   | <p>コロナ禍において、特に独居の高齢者は家にこもりがちな生活が続き、心身ともに疲弊している状況です。地域包括ケアシステムの構築においてさらに地域の連携を深め、住民が健康で安心・安全に暮らせるまちづくりの推進をしていかなければならないと感じました。</p>   |
| 委 員   | <p>事務局の説明の中で、令和3年度の在宅医療・介護連携推進事業のテーマは看取りという話が出ましたが、具体的な事業や取組みは決まっているのでしょうか。</p>  |
| 事 務 局 | <p>具体的な事業は未定ですが、やまびこ日進において看取りをテーマにした市民向け講演会の開催を予定しております。</p>   |
| 委 員   | <p>地域包括支援センターにおいて個別の地域ケア会議を開催しておりますが、コロナ禍のため令和2年度はあまり開催することができませんでした。しかし、認知症状が進行したり、こもりがちで精神的に落ち込んでしまったりというような相談が増えてきているため、社会資源をさらに充実させて、住みやすいまちづくりを推進していきたいと考えております。</p>  |
| 委 員   | <p>地域への周知が十分でないという意見が多く出ていましたので、地域包括支援センターとして、各機関や住民との連携を図ってまいります。</p> <p>また、コロナ禍で地域での事業や会議ができていない状況ですが、ZOOM等を有効活用して連携していきたいと考えております。</p>  |
| 委 員   | <p>地域の高齢者の気持ちやニーズについて、三点挙げます。</p> <p>一点目は、地域包括支援センターが、地域住民にとってより身近な存在になるということです。高齢者は地域包括支援センターを非常に頼りにしているため、市と仕組みづくりについて検討していただきたいです。</p> <p>二点目は、医療・介護連携についての周知です。行政や専門職間で様々な会議や検討が進められておりますが、地域住民にもその内容を伝え、在宅でも安心して医療・介護が受けられることを理解していただく必要があります。</p> <p>三点目は、つどい場に対する相談支援等です。コロナ禍において運営が落ち込んでしまっているため、少しずつ立て直す必要があります。また、立て直しに際してほっとカフェや体操単体で開催するのではな</p> |

| 発 言 者 | 内 容   |
|-------|---|
|       | く、体操とカフェ、専門職による健康についての講話等をセットにして実施することでより参加者の興味・関心を引き、つどいの場の活性化に繋がると考えております。  |
| 会 長   | 多くの委員の意見の中で新型コロナウイルス感染症の影響に関する話が挙がりました。このような状況に乗えるためには、全て以前の状態へ元通りにする方法を考えるのではなく、現状を捉えた上でどう開拓していくかを検討することが我々に求められているのではないのでしょうか。                          |
| 会 長   | それでは、議題（４）「部会委員の指名について」に移ります。事務局から説明をお願いいたします。  |
| 事 務 局 | <p>（資料３に基づき説明）</p> <p>本検討会議に置かれております２つの部会の委員については、日進市地域ケア会議の運営に関する要領第４条第４項及び第５条第２項の規定により、会長が指名することとなっております。資料３にあるとおり、会長から案のご提案がございますので、会長、よろしく申し上げます。</p> |
| 会 長   | では、お手元にあります「日進市地域包括ケア検討会議 部会委員（案）」をご覧ください。それぞれの部会の委員について、案のとおり、各委員にお願いできればと思います。皆様、いかがでしょうか。  |
| 委 員   | （異議なし）  |
| 会 長   | <p>ありがとうございます。よろしく申し上げます。</p> <p>それでは、５「今後の予定」について、事務局から説明をお願いいたします。</p>  |
| 事 務 局 | <p>本会議の部会の一つである在宅医療・介護に関する検討部会につきましては、６月１８日（金）にZOOMとの併用で開催予定です。</p> <p>また、次回の本会議については、冬頃を目途に開催を予定しております。</p>  |
| 事 務 局 | <p>ありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして第１回日進市地域包括ケア検討会議を閉会いたします。皆様ご協力ありがとうございました。</p>   |
|       | 6 閉会  |